



まちの光 第3回 ガールスカウトの歴史・HISTORY

1909年、当時イギリスで人気を高めていたボーイスカウト。その創設者がロバート ベーテン-ポウエル (B-P) 氏。ある日、そのベーテン-ポウエル氏の前に少女たちが押しかけ『私たちも活動したい!』と訴えました。“女性は男性と同等のパートナーであること、自信をもち、積極的に社会参画することを尊重することで” 1910年ガールスカウトは正式に組織化されます。

1920年 日本に伝わり全国各地へ広がりましたが、第二次世界大戦中、一度活動は休止となり、1947年 戦後の焼け野原の中で活動は再開されました。

【日本連盟の活動基本方針!】

ガールスカウトは、少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指しリーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。

『宮崎県第2団とは!!』宮崎県ガールスカウト団員総数：234名

- 団委員長：宇治橋 輝美 【活動方針3つのポイント】：自己開発・人との交わり・自然と共に
- 宮崎県第2団は、故 柿原サエ氏の熱意と愛情により西都児湯一円に広がり、その思いは現在もなお受け継がれ、令和2年で50周年を迎えました! 団員数 51名。



- 私たちは、町内の耕作放棄地をお借りして、無農薬栽培で作物を育て収穫する貴重な体験学習に取り組んでいます。収穫した作物は高鍋町社会福祉協議会などへ寄付し、みなさんにお届けしています。また、国際協力では、途上国の少女に対する支援活動にも取り組んでいます。

《会員募集》

- 就学前1年(5歳)～高校生年代の少女・活動を支援していただける成人会員及び、賛助会員の募集も行っています。どうぞよろしくお願いいたします!

(表紙写真) ガールスカウト宮崎県第2団



議会広報編集特別委員会
 委員長 兒玉秀人 委員 森崎英明
 副委員長 梶原富子 委員 橋 重文
 森 弘道 加藤秀文

編集後記

ひまわりが太陽に向かって咲き誇る夏本番の季節になりました。新型コロナウイルス初感染確認から3年余り、私たちの生活は一変し、あらゆる場面で我慢を強いられてきました。しかし、長い期間を乗り越え新型コロナウイルスは5類感染症に移行されました。

町内でも様々な行事が行われ賑わいが戻り、子どもたちもマスクなしの日々が送れるようになりました。表情が見えることで友達と関わる嬉しさ楽しさも倍増しているように感じています。

6月に第2回定例会が開催され、10名が一般質問を行いました。今後も町民の皆様のご意見要望にこたえられますよう精一杯取り組んでまいります。そして、広報委員6人議会だより編集を工夫しながら作成に務めて行きたいと思えます。

(森崎英明 記)